

# 寺報

No.626

令和元年10月

蓮華寺  
發行

## 御聖訓

法華經ほけきょうを持奉もちたてまつるより外ほか、遊樂ゆうらくはなし。現世げんぜ安穩あんのん後生ごしょう善處ぜんじよとは是これなり。

『四條金吾殿御返事』



## (解 説)

現在、この地球上で安穩な暮らしをしている国がいくつあるでしょうか。

環境汚染などで多くの森林が失われ、干ばつや洪水などの異常気象が世界各国で多発しています。

我々も頭では分りつつ、つつい便利さを追求してしまうのが現状です。

このままではゴミは増え続け、また限りある資源も使い切ってしまうかもしれません。

今、地球から受けている沢山の恩恵に感謝し、生かされている事を忘れてはいけません。

我々が安穩な暮らしをするには、ゴミを掃除するのと同じく、心の中もきれいにしていく必要があるのです。

日蓮大聖人は、法華經・お題目を日々唱える事で、我々の心の中にある仏性（仏の種）が現われ、清められていくとお教えになりました。

どうか、皆様もこの教えを護り、安穩な暮らしを現出来るように精進していきましょう。

# お会式

## 十月二十七日(日)

### 午後一時より

※法要終了後、ご法話あり



昨年好評のお上人が今回もお話をします。

\*本年は、第七百三十八回目のご法事に当ります。

檀信徒の皆様は、必ずご参拝、ご焼香し、日蓮大聖人様へ御報恩の誠を尽しましょう。

\*お経は、『如来神力品第二十一』の中頃「爾の時に佛、上行等の菩薩大衆に告げたまわく」から読みますので、皆様もご一緒にお唱えしましょう。

\*先祖・仏様のご供養(諷誦文)と日蓮大聖人御報恩謝徳【各千円・お札付】をお受け致します。

\*お供物も受付けています。

\*法要終了後の『ご法話』も必ずご聴聞下さい。

## 『御会式』の意義

『御会式』は、日蓮大聖人のご法事の日です。

特に東京池上本門寺の『御会式』は有名で、その日に青森市の人口以上の信者が参拝します。

たくさんの人が、十月十二日の夜に万灯をかつぎ、フエで調子をとりカネ・太鼓をたたき、「纏」を振りながら行列していますと「ああ、今年も御会式が来たな」と感じるそうです。

しかし、あまりの賑やかさに、この行事は日蓮大聖人のご法事とは知らないで、逆に大聖人のお祝だと思っ

ている方もいるそうです。普通、法事といえばしめやかに、おごそかにお勤めをするべきなのでしょう。

だが、我々は、大聖人の死を悲しむのではなく、その出会いにより、ありがたいお題目を教えた下さった事に報恩感謝する事が大事なのです。

「日蓮様安心して下さい。みんな元気にお題目を唱えていますよ。どうぞこの様子を見守って下さい。」と大聖人にご報告し、日蓮宗信徒としての証しを示し

ていかなければなりません。

『♪ここは池上 本門寺 チン チキチキ チンチキチ  
♪一貫三百どうでもいい まんど まんどサツサ  
まんどサツサ』

これは、御会式特有のおハヤシですが、ここで言う「一貫三百」とは、江戸時代頃の職人さんの日当だそうです。

つまり、一日分の給料をフイにしても『御会式』にはお参りしたいという当時の人の信仰にける情熱と熱心さがうかがえる言葉ではないでしょうか。

これに比べて、現代の人の信仰心はどうでしょうか。「日蓮大聖人のご法事ですからお寺にお参りに来て下さい。」とご連絡しても「やれ忙しい」とか「今日は遊びに行かなきゃいけない」とか様々な理由をつけてなかなかお寺に足を運びません。我々は日蓮宗の檀信徒です。

日蓮大聖人のお説きになった『南無妙法蓮華経』のお題目によって、先祖も仏様も我々も救われているのです。

もう一度原点に戻りまして、ご報恩というものを考え

## 安心をもたらす信心

てみてはいかがでしょうか。どうか、法要に参列しご焼香をお願い致します。

### ●日蓮大聖人

#### 聖語カレンダー

日蓮宗新聞社発行で、縦58センチ横38センチの大きさです。

一ヶ月で一枚、上半分に大聖人のお言葉とその解説、下半分がカレンダーで旧暦・二十八宿・九星などが書かれ、更に宗門の聖日(日蓮宗の重要な日)も出ており便利です。

一部・・・五〇〇円

【限定販売】

### ●令和二年度「暦」

一部・・・一五〇円

【限定販売】

(注)いずれも十月一日から販売しています。

# 竜ノ口御法難会

十月十三日(日)

午後一時より

於…大本堂



\*参拝者には全員、オハギをご供養致します。

同じアンコロモチですが、秋はオハギ(お萩)・春はボタモチ(牡丹餅)といわれています。

\*お供物も受け付けます。

⑨『竜ノ口御法難会』は「十三日講」のお勤めの中で執り行います。

## 『七五三』のお知らせ

当山では毎年『七五三』の祈祷を行っていますが、青森は十一月ですと雪の心配がありますので、早い月から受付しています。

『七五三』は本来「数え年」で行うものですから、

◎七歳・平成二十五年生れの女児

◎五歳・平成二十七年生れの男児

◎三歳・平成二十九年生れの女児

となりますが、ご家庭の事情により「満年令」でも構いませんので、子供さんの幸せと発育を願いまして、日蓮宗のご祈祷をお受け下さい。

なお、子供さんには「鬼子母神木札きぶた」「千歳飴」「千支のキーホルダー」「記念写真」を差し上げますのでどうかお早めに、ご予約を戴きますようお願い致します。



## 檀信徒研修会のお知らせ

十月十九日(土)

『聖典の読誦と唱題行』

担当・・・住職上人

☆聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)

\*お題目は七百回以上唱えられます。

時間…午後七時より

場所…小本堂【イス席です】

持参品…聖典(事務所にて)・数珠・団扇太鼓

\*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を心から唱えましょう。

## ☆靈断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『靈断』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお、宗旨宗派は問いません。 ☎776-5840

【ご相談料は一件につき三、〇〇〇円です】

## 『位牌壇』の募集!

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎現在空いています上位の位牌壇に上がりたい方には数がある限り無料でお譲り致しますが、維持費は増額となります。

詳細は事務所まで!

**大本堂**  
**『須弥壇』**  
**『鬼子母神・妙見様御厨子』**  
**『大黒様御厨子』**

**ご寄付のお願い**

令和二年六月二十一日(日)日蓮大聖人の御生誕八百年記念の東北教区大法要が、日蓮宗の管長猥下をお迎えしまして、当山で厳修されます。  
 その記念事業としまして、当山では大本堂御寶前の前の『須弥壇』(前机)と両脇にお祀りしています『御厨子』の修復工事を行う事に致しました。  
 どちらも九十二年の年月を経て、かなり老朽化しましたので、今般これを機会に修復したいと思えます。  
 どうかその旨をご理解戴きまして、今般の修復へのご協力をよろしくお願い致します。  
 なお、御浄財はご賛同頂けます檀信徒の皆様方にお願  
 いております。

**\*勸募方法**

- 一、**改修費用** 三千一百万円
- 一、**完成予定** 令和二年五月
- 一、**浄財** 一口・一万円

【何口でも結構です】

**『提灯』の募集!**

当山で「鬼子母神大祭」「御会式」「お正月」の際に掲揚します『提灯』(トローラー)を募集致します。  
 作成価格は八千円で年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ一万円となります。

**『聖徒団会員』募集!**

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、任職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。  
 その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする聖徒タイムズ・寺報等の援助などに活用します。  
 会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

**『霊神符』を持ちましょう!**

最近では思いもよらぬ事故が多発し、特に子供さんが悲惨な事故に会われています。

皆様も「私は大丈夫」という考えはお止めになり、素直に毎月のお守り【霊神符】をお持ちになる様にお願  
 いたします。



**十月の行事**

一 日(火) 盛運祈願会

午後一時より

- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ お勤めに参拝し、お経とお題目を唱えましょう。
- ・ 檀信徒の方は必ずお守りを持ちましょう。



十三日(日) 日蓮大聖人様の御回向

午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- ・ 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・ 皆様も日蓮大聖人様の御報恩を忘れずに参拝し、一緒にお経・お題目を唱えましょう。

十三日(日) 『竜ノ口御法難会』

午後一時より

十三日(日) 『妙見小祭』

朝のお勤め中

十九日(土) 『檀信徒研修会』

午後七時より

二十六日(土) 『鬼子母神小祭』

朝のお勤め中

二十七日(日) 『御会式』

午後一時より

**☆奉仕のお知らせ**

二十三日(水) 『御会式』花作り・・・午前九時より

・ 一般檀信徒の皆様・教宣部男女

\* 『御会式』の際、大本堂に飾る桜の花は、毎年教宣部と檀信徒の皆様が奉仕で作られています。

どなたでも参加出来ますので、日蓮大聖人様への御報恩の為、よろしくご協力をお願い致します。

二十五日(金) 『御会式』の準備

・ 教宣部男女・・・午前九時より

\* 大本堂の幕、ノボリ、ちようちん、祭壇等の準備

二十七日(日) 『御会式』のお手伝い

・ 教宣部男女・・・午前十時より

二十八日(月) 『御会式』の後片付け

・ 教宣部男女・・・午前十時より

\* 大本堂の幕、ノボリ、ちようちん、祭壇等の後片付け  
 ④ 『御会式』は大行事ですので、準備、後片付け等が大変です。

沢山の方々のご奉仕をよろしくお願い致します。  
 教宣部員以外の方の檀信徒の方も歓迎致します。

◎奉仕部長・山田兼補◎伝道部長・小野正春  
 ◎教宣部長・杉淵昌三

お え しき  
御 会 式

\*法 要

十月二十七日(日)

午後一時より

※法要終了後・御法話

講 師：日蓮宗靈断師会・指導局長  
広島市安佐南区八木

龍華寺住職 大平 貫脩 上人



※檀信徒の皆様は、『御会式』法要には必ず参拝し、  
日蓮大聖人様へご報恩のご焼香致しましょう。

※日蓮大聖人様の御報恩謝徳と先祖・仏様のご供養  
【諷誦文】(お札付・千円)、お供物等をお受け致します。